

J A種子屋久では、自己改革の取り組みについてのリーフレットを作成しました。各種
総会・協議会等で活用していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

今回は、「農業所得の増大・農業生産の拡大」と「農業者のコスト抑制対策」の取り組み
を掲載。次回は、「地域活性化」と「組合員との徹底した話し合い」を掲載します。

令和元年度 J A種子屋久

農業所得の増大・農業生産の拡大

農業振興を図りました!!



～経済部の取り組み～



米・安納芋・馬鈴薯・たんかんなどの農産物
PRを全国の量販店等で実施しました。全国
的に重量野菜を中心に市場相場が低迷す
る中、生産者部会・県連と連携し、販売促進
に力を入れ、当JAの農産物売り場の確保を
行い、農家所得の確保に努めました。



～農家経営支援センターの取り組み①～

◆ 声を聴く運動の実践

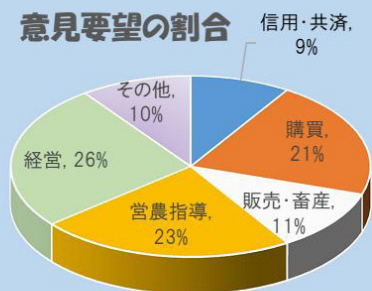
農家・組合員の皆様へ出向く体制の継続を図り、農協事業や
農業に関する意見要望を伺いました。経済部や畜産部などと
情報を共有し、農家所得向上や経営改善に取り組みました。

◆ 担い手・雇用対策への取り組み

- ① 法人の設立支援
- ② 集落営農組織の設立支援
- ③ 労災の加入支援
- ④ 新規就農者巡回指導



意見要望の割合



～農家経営支援センターの取り組み②～

経営の見える化(青色申告会への加入促進)

組合員の皆様が自分の経営状況を把握し、経営の改善を図るととも
に、税金対策をしっかりと行えるように青色申告の会員拡大と記帳代
行の体制整備に取り組みました。

- ① 記帳代行の実施(375件)
- ② 新規会員への説明会の開催
- ③ 集落説明会の開催



～畜産部の取り組み～



- ① 子牛せり市における出荷牛のバラツキを少なくするため、せり前での下見
において飼料給与量の確認と発育をチェックし、購買者ニーズにあった
子牛作りを指導しました。
- ② 年に2回の肉用牛改良委員会において、地区にあった基幹種雄牛・準
基幹種雄牛を選定しており、今回は、熊毛地区子牛育成飼養管理マニ
ュアルも現行にあった体系に見直しを行いました。
- ③ 血統だけでは無い、発育を重視した自家保留・導入を推進し、繁殖雌牛
の増頭運動に努めました。

